



みずほ

第 6 号

平成16年11月1日

発行  
岐阜県瑞穂市議会

編集  
瑞穂市議会広報編集委員会

# 市議会だより



秋の風物詩、運動会 元気に踊る園児たち = 別府保育園に

平成16年第3回  
瑞穂市議会  
定例会

## 議会改革検討特別委員会を設置 ..... 2p

- 一般会計補正予算 ..... 3p
- 可決した意見書（要旨） ..... 4p
- 議員提出 乳幼児医療費助成 ..... 5p
- 平成16年 第2回臨時会 ..... 5p
- 一般質問 ～市政を問う～（13人） ..... 5p
- ～継続審議～ ..... 4p

平成16年第3回瑞穂市議会定例会が、9月13日から18日間の会期で開会した。本定例会には、市長から提出された議案18件のほか、議員が提出した条例1件、意見書4件、議会改革検討特別委員会設置に関する決議1件を審議した。議員提出の条例は継続審議となったが、その他の議案はすべて可決し、9月30日に閉会した。

# 議会改革検討特別委員会を設置

定例会最終日の9月30日、浅野榎議員から提出された「議会改革検討特別委員会設置に関する決議」を審議した。

この決議は、地方分権化時代に対応した議会運営及び議会議員のあるべき姿を全般的に検討し、改革する目的で設置しようとするもので、採決の結果、全会一致で可決した。

特別委員会は議員12名で構成し、次のとおり決定した。なお、この特別委員会は、議会が閉会中でも、地方分権化時代に対応した議会運営及び議会議員のあるべき姿を調査し、この調査が終了するまで活動を行うことになる。

## (提出の理由)

地方分権化時代を迎え、議会の運営及び議員の役割はますます重要性を増し、市民の議員に対する期待は日ごとに大きくなるとともに、市民の期待に応えるべく議員一人ひとりが精進、努力する時代となってきた。

新市誕生に伴い、旧態然とした議会運営や議員活動では市民が納得しない時代となり、議員一人ひとりが襟を正して議会改革を推進していく大きな転機である。そこで、地方分権化時代に対応した議会運営及び議会議員のあるべき姿を全般的に検討し、これを改革する目的で議会改革検討特別委員会の設置を求める決議を提出するものである。



議会改革検討委員会のように = 議員会議室にて

委員長	西岡	一	成				
副委員長	浅野	榎	雄				
委員	安藤	由	庸	篠	田	徹	
	若松	五	朗	広	瀬	時	
	小	藤	四	桜	木	ゆう	
	広	野	郎	藤	橋	子	
		川	範	柵	瀬	治	
		瀬	男			宏	

## 一般会計補正予算

# 付帯決議とともに可決

平成16年度一般会計補正予算(第1号)は、4億3938万4千円を増額する内容である。このうち1億8676万円は生津ふれあい広場に隣接する土地(4578㎡)の購入費と、その関連経費であり、購入に要する財源の大部分は合併特例債1億7670万円の市債、いわゆる借金(を充てるものである)。



購入予定の生津ふれあい広場に隣接する土地

(付帯決議全文) 平成16年度瑞穂市一般会計補正予算(第1号)中、保健体育費部分の執行について慎重な執行を求める決議

平成16年度瑞穂市一般会計補正予算(第1号)の教育費の款、保健体育費の項に補正計上された1億8676万円は、瑞穂市生津ふれあい広場に隣接する土地(4578㎡)の購入費を含むものである。

しかし、この土地の購入価格や、この土地を含めた瑞穂市生津ふれあい広場の今後の利用形態には、土地売買契約締結時において、なお検討の余地がある。

したがって、この予算の執行にあたっては、土地売買契約締結前に議会と十分な協議を行うなど、慎重な執行を求める。

## 総務委員会

なお、この補正予算案が審査された総務常任委員会や全員協議会の内容は次のとおり。

**Q** なぜこの時期に予算計上するのか。また、この土地はどういう土地か。  
**A** この土地は(株)タマコシと(株)ランドタマコシが所有し、両社及び弁護士から今年4月に土地売却の打診があったので、検討して補正予算案を提出した。

**Q** この土地の有効性は。  
**A** この土地を購入することにより、生津ふれあい広場へ南側の道路(穂積北中学校から東進した道路)から入れるようになり、広場の利用価値が大いに高まると思われる。

**Q** 生津ふれあい広場の将来構想は。  
**A** 全国的な公式競技ができるグランドまたは総合体育館を検討したい。

## 否決

### 土地購入関連経費を削る補正予算修正案

総務常任委員会において、「この土地の利用目的は明確でなく、議会においての審議も十分でない。さらに瑞穂市においては福祉関係の施策が不十分なのに、このような土地に投資することとは住民に対する理解と納得が得られない」として、小寺徹委員から土地購入関連経費を削る修正案が提出された。

## 可決

### 慎重な執行を求める決議

総務常任委員会において、「この土地の購入価格や、この土地を含めた瑞穂市生津ふれあい広場の今後の利用形態には、土地売買契約締結時において、なお検討の余地がある。」として、若園五朗委員から土地購入関連経費について慎重な執行を求める決議案が提出された。

# 通院医療費助成

議員提出

## 5歳未満を 小学校就学前に拡大

継続審議

瑞穂市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例案が小寺徹議員より提出された。  
現在は、入院が小学校就学前まで、外来（通院）は5歳に達する日の属する月までの医療費が無料となっているが、改正条例案は、来年4月から外来（通院）も小学校就学前まで無料とする内容である。

この改正条例案が審査された厚生常任委員会では、「予算を伴う条例案であるので、必要な措置が適確に講ぜられる見込みを得る必要がある」として、継続審査とすることに決定した。厚生常任委員会は、議会が閉会してから市長と連絡を図り、財源の見直し等意見の調整をすることになる。



1歳半健診を受ける乳幼児 = 保健センターにて

# 平成16年 第2回 臨時会

平成16年第2回瑞穂市議会臨時会が、8月20日に1日間の会期で開会し、市長から提出された議案1件を可決して、同日閉会した。

提出された議案の概要は次のとおり。  
本田小学校の児童数が増加し、来年度から教室が不足するため増築の必要がある。14社で指名競争入札を実施した結果、共栄土木建築株式会社（岐阜市城東通2丁目17番地）が1億9425万円と最も安価で落札した。同社と契約を締結したいので、議会の議決を求める。

議会での主な質疑は、次のとおり。  
Q 市が進める大きな事業について、議会と協議する場を設けることをどう考えているか。



第2回臨時会で議決した本田小学校増築工事

Q それぞれの案件によって進め方が違ってくる。単純に金額の問題ではなく、事業が市の将来や考え方に大きな課題のある問題については、議会だけでなく、一般住民、地域の方々、利害関係者とも十分に議論する必要があると考える。  
A 増築校舎に建築予定の多目的室は、地域に開放される。コミュニティの場に使用できるか。  
Q 今回の増築は、本田小学校児童の学校教育に活用することを基本に考えており、地域開放の構想はない。完成後は学校の判断で開放することも有り得る。

# 可決した意見書（要旨）

## 郵政事業の改革に関する意見書

日本郵政公社は昨年4月に発足したばかりであり、公社は「真つ向サービス」を掲げて、より国民の満足が得られる体制の確立、民間的な経営手法の導入による一層の経費削減等により国民の利益を目指して取り組んでいる。  
国民生活に密接に結びついている郵政事業の改革は、国民生活にどのような影響をもたらすか、そしてその改革が一部の

## 消費者保護法制等の整備を求める意見書

消費者の権利の確立を柱とした消費者基本法が成立し、施行される意義は極めて大きい。消費者問題が多様化、複雑化する中で、消費者が真の主役となり、適切な意思決定を行えるような環境を整備する必要がある。政府は、我が国の消費者の視点に立ち、消費者保護法制等の整備を早期実現することを強く要望する。改正消費者基本法を踏まえ、消費者団体訴訟制度

## 食品安全行政の充実を求める意見書

平成15年5月に食品安全基本法が成立し、政府は、食品安全委員会を設置した。しかし、生産者・消費者に軸足を移したリスク管理は実現などの課題がある。  
よって、政府は、食品の安全確保をより一層推進するため、食品安全行政の強化・充実に努めるよう要望する。  
食品安全委員会審議への生産者・消費者の意見反映を担保

## 地方分権推進のための国庫補助負担金改革案の実現を求める意見書

平成16年度の国の予算編成は、「三位一体改革」の名の下に、本来あるべき国と地方の構造改革でなく、国の財政健全化方針に特化したもので、著しく地方の信頼関係を損ねる結果となった。国は、地方六団体が取りまとめた改革案と地方公共団体の思いを真摯に受け止め、以下の前提条件を十分踏まえて、その早期実現を強く求める。  
国と地方の協議機関の設置  
税源移譲との一体的実施  
確実な税源移譲  
地方交付税による確実な財政措置  
施設整備事業に対する財政措置  
負担転嫁の排除  
新たな類似補助金の創設  
禁止  
地方財政計画作成に当たっての地方公共団体の意見の反映

# 借地の買取りは

## 地権者の意向と予算を考えて

Q 犀川グラウンドは借地であるが、利用頻度は少ない。今後継続して借り上げるのか。  
A また、西・中・南ふれあい広場の借地は、今年から雑種地として課税されている。相続が発生した場合を考慮、用地の買取りや、借地料を見直す考えは。

Q 教育次長 西・中ふれあい広場が整備されてからは犀川グラウンドの利用率が減少している。重里、森、美江寺の地元自治会の要望で整備された経緯もある。で、地元自治会や体育協会などの関係団体と意見を調整しながら今後の方針を決定したい。

Q 総務部長 公共用地の賃借料は、本年度より見直しを行っている。また、用地の買取りは、土地所有者の意向と市の予算を考慮して対応する。



借地も含んで整備されている西ふれあい広場

## 4年後の消防体制は

Q 現在の消防体制は、旧穂積エリアが岐阜市へ委託し、旧奥南エリアは本巣消防に加入する変則的な体制となっている。3年半後の平成19年度末には委託業務が終了することになっている。その後の体制は。

Q 市長 災害時における対応力をみると、消防体制はできるだけ広域で構築すべきと考える。北方町の合併問題に区切りがついた今、本巣消防の管理者（北方町長）、副管理者（本巣市長）に加入の打診をしたところ、良い返事であった。近く開かれる本巣消防議会で正式に加入のお願いをしたい。

その他の質問  
市の普通財産について



若園五朗議員

市政Q&A

一般質問

市政を問う

# 総合センター自主事業の入場者増加策は

## PRの工夫に努めたい

教育長

**Q** 総合センター主催の自主事業は、比較的安い料金で良質の芸術文化活動を知ってもらおう目的であるのに、入場者数が少なすぎる。入場者の増加を図る手段を講ずるべきでないか。

**A** 市立図書館楽修館の周辺は、休日ともなると路上駐車であふれている。駐車場不足が原因だが、その対策は。

**Q** 楽修館の駐車場対策は

**A** 市内の公立図書館で飲食コーナーの設置状況を調査したところ、図書館の内部で設置している例はほとんどない。図書館の本来の目的や現在の施設環境及び利用者のニーズ等を勘案し、時間を区切って会議室を休憩室として開放するなど、いろいろ検討したい。



安藤由庸議員

**Q** やはり、市民のニーズを的確につかんだ企画をすること、PRの工夫をすることが必要であろう。具体的には、適切な入場料の設定、早い時期からの企画とPR、アピールポイントを明確にしたPR、年齢層などを配慮したPR

**A** 楽修館の駐車場は昨年まで58台分であったが、今年度東側に10台分を追加し、現在は68台分となっている。これ以上の対策は、新たな土地確保という大きな問題があるので、関係部局と協議し、検討したい。



市立図書館・楽修館の駐車場対策は

# 夢のある通学路を

## 安全で安心して通えるのが基本

教育長

**Q** 牛牧小学校の子ども達から「夢のある通学路」の提案があった。通学路の選定及び整備はどうなっているか。

**A** 毎年、新年度に各学校がPTAと協議し、決定されたものを教育委員

会に報告いただいている。しかし、色々な条件に制限されているので、さまざまな通学路の整備に関する要望も届く。これらは、安全で安心して通える通学路という基本的な立場で関係部局と調整したい。

**Q** 牛牧小学校の増築計画は

なお、増築計画の策定は牛牧小学校のみならず、他校の動向も見極め、市全体の計画として作成したい。

**Q** 犀川堤外地に大型スーパーができ、住宅も造成される。また、十九条・上牛牧・下牛牧は人口の増加が進んでいる。牛牧小学校下の人口増が見込まれるなか、小学校の増築計画は。

**A** 現在は各学年3クラスと特殊学級1クラスの計19クラスあるが、再来年の1年生からは4クラスになると見込まれる。余裕教室は3クラス分しかない。3、4年後には増築工事を考えねばならない。



牛牧小学校の増築計画は



浅野楔雄議員

**Q** 公の施設に国旗が掲揚されていないのは、世界的にみると非常に珍しい。小中学校における国旗の掲揚状況は。

**A** 体育館に常時掲揚するか、掲揚塔に毎日掲揚するかの方法で全学校が掲揚している。教育委員会では、入学式と卒業式の式場には国旗を掲揚するよう指導しているが、これ以外には各学校の自主的な判断によるものだ。

**その他の質問**  
犀川堤外地整備計画について



# 自治会での敬老会取り組み状況は

## 26自治会が実施

市民部長

**Q** 敬老会について、自治会の取り組み状況は。また、来年度に向けての検討は。

**A** 93自治会中、照会は58団体からあったが、実施されたのは26団体である。内容は式典のほか、ア

トラクション、食事会、介護保険やオレオレ詐欺の講演、子ども会のクイズなど各自自治会で工夫を凝らしている。来年度は、敬老事業を実施した団体、しなかつた団体、協力のあった団体のご意見も十分参考にして、方向性を見極めたい。

# 本田地内の産廃問題

**Q** 改善命令後も保管量が減っていない。市は県のどの部局へ文書で報告しているのか。また、この業者が本巣市法林寺に所有する産廃置場の土地取得に市職員が関与しているとされるがどうか。

**A** 記録は文書で残すよう担当に指示する。また、土地取得に関する市職員の関与は、実態・状況をよく調査して、適切な指導をする。

**市民部長** 岐阜地域振興局環境課と密接に連携をとっているが、文書で記録はしていない。



本田地内の産業廃棄物

## 樽見鉄道の再建計画



小寺 徹議員

**Q** コンサルタントに委託されている再建計画の内容は。また、これに対する市の考えは。

**A** 経費削減と運賃の15%アップによって、経常経費を数千円まで圧縮できるが、黒字化は非常に難しいという内容であった。

**Q** 乾いたタオルを絞るくらい経費を節約した数字だから、基盤整備など長期的な視点にたった将来計画と、大垣市・本巣市の判断も参考に、瑞穂市の考え方を整理しなければならぬ。

**その他の質問**  
アメリカシロヒトリの駆除対策について



瑞穂市の中央付近に位置する堀越紡績所有の土地

# 公共用地取得の見通しは

## 将来構想を踏まえた大きな視点で考えるべき

市長

**Q** 公共用地の取得について、総務常任委員会、生津ふれあい広場に隣接するタマコシ所有の土地堀越紡績の所有する土地、瑞穂市に貸してあった市長が所有する土地、本田地内のコミュニティセンター用地の4件が議題となった。委員会では、将来を見越して計画的に執行してほしいとの意見であったが、その後の検討内容は。

**A** ある程度まとまった面積の土地取得は、年々厳しくなってきている。詳細な点まで計画して取得すべきだとの考えもあるが、将来構想を踏まえて対応しないと、計画を実現できない事態も発生し得る。将来も広場を今の形で使うのならば必要ないが、市の重要な施設を整備しようとしたときに利用価値



藤橋礼治議員

をいっそう高める効果がある。

瑞穂市のちょうど中央に位置し、施設を統合したり、整備したりするのに、非常に重要な役割を果たす土地になると思う。穂積駅の将来を考えたとき、駅への寄り付きを良くして、機能アップを図ることが重要であると思う。その場合に、私の土地の利用価値や必要性を判断して議論していただきたい。



# 次世代育成支援の行動計画策定状況は

## 4回の協議会、11月に素案

市長公室長

**Q** 次代の社会を担う子どもが、健やかに生まれ育つ環境を整えるため、次世代育成支援対策推進法が昨年7月に成立した。この法律により、今年度末までに地域行動計画を決定し、公表しなければならない。現在の策定状況は。

**A** 市長公室長 今年6月15日に行動計画策定協議会が設置され、既に4回開催された。協議会では、瑞穂市の基本理念を「みずほ・未来の子どもたち21」と決定し、特定14事業は今後5年間の目標量を定めて県への報告した。

## 穂積駅の改善計画は

**Q** JR穂積駅周辺及び駅設備の改善計画について、

JR穂積駅北の東、長良川堤岸道までの道路整備は。

JR穂積駅北のロータリーの整備は。  
交通バリアフリー法に伴うエレベーターの設置は。

**A** 都市整備部長 とは、用地買収に大変苦慮している。引き続き努

力するが、代替地の取得や周辺地を含めた対応を考えると、もひとつの手法である。

今年度設置する予定で予算も計上してあったが、残念ながら、事業者であるJR東海の事情により延期となる見込みである。多くの皆様に穂積駅を快適で安全にご利用いただくため、早期に設置できるよう関係機関に要望し、JR東海とも協議したい。



JR穂積駅北の東の道路は、行止りになっているが...

**その他の質問**  
常備消防の新体制確立について



広瀬捨男議員

なお、協議会ではすべての子ども達が幸せに育つことを応援する視点、すべての親がゆとりを持って子育てできることを応援する視点、地域の皆が子育てを温かく見守り、応援する視点、を大切にして行動計画の策定を進め、11月に素案を作成したい。

# 水道業務の休日対応は

## 平日に立会いをお願いしたい

水道部長

**Q** 土・日・祝日に引越をされる賃貸アパートの住民が多い。水道メーターの取付け、取外しには使用者の立会いが必要と聞くが、休日に対応することはできないか。

**A** 水道部長 メーターの取付けに立会いがないと、家の中で蛇口が開いていて水漫しになるなどの事故がある。引越時期は集中するので、使用者本人が立会いえない場合は、平日にアパー



桜木ゆう子議員

トの管理会社等に立会っていただきたい。



## 保育園の待機幼児者数は

## 音響設備のメンテナンスは

**Q** 入所を待つ幼児は何人いるか。また、今後の幼児数の見込みは。

**A** 市民部長 0歳児が3名、1歳児が7名、2歳児が10名で計20名いる。また、広域入所を含めた現在の園児数は1135名で、昨年より9名増加した。未満児の入所希望が増加する傾向にある。

**Q** 行政や学校関係のイベント・式典に音響は必要で大変重要である。しかし、音声が届かなかったり、聞き苦しかったりトラブルが多い設備のメンテナンスは充分されているか。

**A** 教育次長 メンテナンスを業者へ委託しているのは総合センターのみで、その他の施設は職員がメンテナンスを行っている。今後とも機器の再点検や、適正な操作方法の徹底を図りたい。



子どもたちの音響は、一生懸命で、かわいいが... =本田小学校にて

**その他の質問**  
本田地区の産廃問題について

# 子育て支援の拠点は

## 施設の充実に努めたい

市長公室長

**Q** 次世代育成支援対策の計画に、児童館など子育て支援の拠点づくりを入れるべきではないか。

**A** 市長公室長 子育て支援センターは、現在、南保育教育センターで実施しているが、平成20年度目標でもう1カ所設置したい。ま



熊谷祐子議員

た、社会福祉法人の児童館があるが、世代間を越えた子育て支援を睨んだ施設の充実に努めたい。

## 学童保育について

**Q** 市は、教室不足のため学校での学童保育はできないと言ってきたが、本田小学校の増築工事で3階建てに仕上がったのはなぜか。また、穂積小学校で倉庫の状態となっている5教室は

**A** 教育長 校舎増築は、現在の校舎内で新たな教室の確保、それに伴う教室の移転、幅広い教育活動が展開できる多目的教室の新設という3点の立場で構想したもので、結果的に2階建てとなった。また、穂積小学校の教室は校長が管理しているが、少人数指導室などに転用したい意向である。

## 馬場公園の遊具の事故について

**Q** 2月の時点で7点遊具があったのを耐用年数が過ぎたので、全部撤去して複合遊具を1点設置した。遊具の選定には親の声を直接聞き、撤去した数だけ遊具を設置すべきでないか。また、複合遊具で骨折した3人の親に対して治療費を支払うべきではないか。

**A** 都市整備部長 複合遊具を導入するときに、地元自治会長やPTAの方に相談し、その中から選定した。また、複合遊具に集中するので、今年度にも遊具を追加する予定である。治療費は、お見舞いに行ったとき、ご理解いただいていると考えている。



事故があった馬場公園の複合遊具

## その他の質問

保健センターについて  
男女共同参画社会基本法・基本計画の策定について  
穂積駅と駅周辺の整備について

# 市長は減免を受けていた固定資産税を納付すべき

## 市長 請求があった分はすべて支払ってある

市長

**Q** 瑞穂市税条例第71条第2項は、「固定資産税の減免を受けようとする者は、納期前7日までに、次に掲げる事項を記載した申請書にその減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。」と規定している。つまり、毎年減免申請書を提出しなければならぬのに、市長は、駅南自治会に貸していた土地について、昭和53年に一度申請書を提出しただけで、以来約26年間、固定資産税の減免を受けてきた。これは条例違反であり、その責任は重い。少なくとも町長及び市長に就任していた約10年間の固定資産税は納付すべきである。

**A** 市長 昭和53年当時は私も一町民で、土地を公共に利用する場合は減免されることは知っていたが、その手続きの詳細は熟知していなかった。申請を受理され、減免手続きは完了したと認識していたし、請求された固定資産税は全額支払ってある。決して脱税する意思など持っていない。

また、故意に減免申請書を提出していなかったの

であれば、地方税法違反(脱税)の罪にあたる。一般市民は、住民票や印鑑証明書をとるときや、市の施設を借りるときには、事前に必ず申請書を提出しなければならない。これでは行政の公平性が担保されない。これについて、どう考えるか。



西岡一成議員

**A** 総務部長 本来、毎年減免申請書が提出されなければならぬが、当時は一度提出があると、事実関係及び現況を確認して減免してきた。地権者のご厚意で、公共用に無償で提供されている土地は、現在24件39筆ある。市の事務処理手続きが不備だからこの理由で、新たに納税をお願いするのはどうかと思う。



無償で駅南自治会に貸していた市長の土地 = 別府地内に

# 木造住宅の耐震補強 工事に助成を

都市整備部長  
検討したい

Q 大規模地震は90年から150年の周期で発生し、東海・東南海地震は、いつ発生しても不思議でないと言われている。地震が起きてから対策を実施するのでなく、事前の対策が必要だ。

施設管理公社職員の雇用、賃金体系の見直しを

Q 公社は市民の健全な生活と資質の向上を図りながら、市勢の進展と福祉に寄与することを目的に設立された。現在の雇用は60歳代が大半で、賃金も月額6〜7千円程度である。40〜50歳代の働き盛りの勤労者が、企業の合理化や倒産で失業している。公社をこの人たちの職場として見直せないか。

A 都市整備部長 耐震診断を実施された木造住宅に対しては平成10年度から助成を実施している。(助成要件等の詳細は、都市開発課へお尋ねください。)



松野藤四郎議員



剪定作業をする施設管理公社職員 = 市役所前にて

# 北方多度線の全線開通はいつか

都市整備部長  
来年夏ごろの予定



来年夏ごろに全線が開通する予定の北方多度線の工事場所 = 下穂積にて

Q 犀川堤外地の開発に連して4点質問する。主要地方道北方多度線が全線開通する予定はいつか。

A 都市整備部長 区画内にある18m道路はどこに接続する計画か。接続道路の信号機は、どこに設置する計画か。区域内に農産物の直販所を整備する計画は。



澤井幸一議員

江寺西結線に接続する計画で、地元宝江地区の概要説明を終えている。当面は、ほづみ園南を県道に接続させる事業を先行する計画を進めている。信号機は、北方多度線の新堀川西の市道交差点に全線開通と同時に設置される予定だが、その他は未定である。

A 市長 農業振興協議会で、農産物直販所のあり方について検討していただいている。私は、どこかに併設した直販所をぜひやりたいと思っている。



各方面からいただいた貴重なご意見を十分参考にし、来年度に向けて検討したい。

# 下水道の整備計画は

水道部長  
基本計画を策定中

Q 下水道の整備促進について、県下における市の下水道進捗順位は。旧粟南町の中・南地区は西地区の供用開始後に着手するよう住民説明しているが、今後の整備計画は。

A 水道部長 公共下水道とコミュニティプラントの国庫補助率の違いは。県下80市町村のうち74番目、15市の中では13番目となる。

下水道の基本計画は、行政区画全体をみて、効率的な手法や処理区の設定が必要である。合併した今、市全体の事業計画及び整備方針の見直しが必要である。現在、基本計画を策定中であり、市全体の整備方針や財政負担をみながら、実施計画を策定したい。基本的には、公共下水道が2分の1、コミュニティプラントは3分の1である。



朝日大学を最大限に活用し、活力あるまちづくりを

朝日大学を最大限に活用し、活力あるまちづくりを

Q 行政がパイプ役となり、大学の調査・研究のノウハウを活かして、市内企業とタイアップしたベンチャー企業の創出ができないか。また、若い学生が中心となった瑞穂市ならではの一大イベントを企画できないか。

その他の質問  
敬老会行事について



堀 孝正議員

A 市長公室長 大学と市が協力しあって、活力あるまちづくりを行うことは重要だ。市は、大学の知的財産をまちづくりに活用するとともに、大学側にソフト面・ハード面で協力すること、大学も市も相乗効果で発展し、明るい未来が開けると考えている。

# ハザードマップの作成は

行政推進チーム総括課長  
水害編と地震編で進める

Q 当市においては、昭和51年の9・12水害以来、大きな災害の記憶はないが、地震や水害などに備え、緊急避難先などを明示した地図を作成できないか。

A 行政推進チーム総括課長 現在、防災の基本事項を

保育園の今後の推移

Q 臨時保育士を募集しているが、今後保育士を増員する計画があるのか。また、保育所の新設や改築の計画は。

A 市民部長 広報みずほ9月号で募集した臨時保育士は、正職員の産休代替保育士である。今年4月に開園した私立の清流みずほ幼稚園が、未満児保育を実施する計画がある。また、国の動向で幼保一元化の方針はあるが、

犀川堤外地の都市計画は

Q 犀川堤外地の都市計画が定まっていらないが、今後の見直しは。また、予定される住宅戸数と人口増に対する小中学校の対応は。

A 都市整備部長 一部の商業集積地は今年度からだが、その他の地域は平成18年度から使用されるので、今年度中に条例案の作成を



篠田 徹議員

行い、無秩序な乱開発を防止し、適正な土地利用を誘導したい。また、この土地で430戸、1280人の人口増を見込んでいる。

A 教育長 平均値で計算すると、1学年につき約15名の増加となるであろう。学級数に影響するのは、4年以上先になると思う。

その他の質問  
穂積駅周辺の開発について

# 議員紹介です

## 新時代を 拓く議員像

山田隆義

昨年5月より旧穂積町・旧栗園町が合併して新市・瑞穂市が誕生しました。そして、本年4月には市議会議員選挙が行われました。厳しい審判が下され、新議員20人が選任されましたが、幸いにして7人の方が新人議員であり、当選後は活発な活動をなされ



市民の負託に応えるべく懸命に努力をされておられます。市行政への追従的議員活動ではなく、地方分権・地方自治にふさわしい使命感のもと、議会の権能を高め、多様化する市

民の負託に応える活動を期待したいと思えます。私は最古参議員としての責務の重大さを痛感している所であり、今後とも初心を忘れず、若者男女が住んで良かったまち、助け合いの心の通う澄みきつたまちづくりに努力いたします。

躍動する瑞穂市、健康で人間尊重の地域づくりに邁進いたします。市民の皆様方の叱咤激励をお願いいたします。



## 妻のこと

西岡一成

去る4月の市議選で、私は妻に一票を投じた。が、妻は私と共に5回連続当選を果たせなかった。

妻は私のパートナーとして28年間、社会運動の道を行ってきた。常に在野で、社会党の中にあっても少数派として私と同じ位置に身を置いた。

そのため、必要以上の批判にもさらされた。

さぞや心身ともに疲れ果てただろう。貧乏暮らしも大変だったと思う。日頃から、私は妻に「社会運動というのは、自分たちの利益を後回しにして、社会的な弱者に奉仕することだ」といい続けてきた。

しかし、18歳からこの道に入った私自身が、37年間の闘いの中で、心臓の冠状動脈の狭窄部分にステントを二本入れ、両眼は低眼圧性の緑内障、両耳は難聴となっていました。

だから、妻が甲状腺の病気を繰り返すのも無理はない。市立幼稚園の教諭を続けておれば、今頃は園長になり、貧乏生活はしなくて済んだかも知れない。申し訳ないとも思う。

ともあれ、そういう妻に対する私の気持ち、市議選での妻に対する一票となった。

妻は53歳。保育士として第三の人生を歩み始めた。0歳児から1歳児までの乳児を担当している。「やっつと、

ばーば、ばーばとなつてくれた」と、うれしそうだ。頑固な私も心の中で、「良かったなあ」と思う。

こどもたちの笑顔からエネルギーをいっぱいもらって頑張ってもらいたい。



## 編集後記

編集委員会では、写真を多くする わかりやすい文章にする 市民が知りたい情報を掲載する 市民の立場に立った編集をするなど、市民の皆様に分かりやすくお知らせできるよう、特色ある議会広報づくりを心がけています。

今月号から最終ページに議員紹介のコーナーを設けました。10回で全議員を紹介する予定です。お楽しみに。(若園)

秋の気配が感じられ過ぎしやすい季節となりました。我が国は四季があり窓から眺められる景色にも移り変わりが感じられます。

瑞穂市議会においても皆さんのご意見を受け止めながら、決して止まることなくより良い瑞穂市を築けますように、議員全員が真摯に活動致しておりますので今後ともよろしくお祈り致します。

(篠田)

